

千葉文化

CHIBA PREFECTURAL CENTRAL LIBRARY

千葉県立中央図書館報



資料散策 68

『戶外遊戯法 一名戶外運動法』 坪井玄道編纂 1885 (明治18)

坪井玄道が書いた屋外で行うスポーツ・遊戯の指南書です。海外のアウトドアスポーツに関する図書と伝習所で実施していた遊戯から、「循環球」(ゲートボールの原型)、「フットボール」(サッカー)など計21種類の遊戯を紹介しています。画像は「ベースボール」の打者の位置を示す図で、打者は「打球者」、ピッチャーは「ピッチャル」と書かれ、現在とは異なる表記となっています。

千葉県立図書館ホームページ「菜の花ライブラリー」にて全文をご覧いただけます。

千葉県図書館 館報創刊から90年

昭和5年3月に「千葉県図書館 館報」（後の千葉文化）が創刊されました。第1号では新着図書目録、多く読まれた新刊書・雑誌などの紹介や閲覧統計が掲載されました。昭和14年3月の第67号まで9年間、年6回発行され、写真を使つての市町村図書館の紹介や、司書検定試験問題も掲載され、図書館をより身近に感じられるような工夫がされました。

昭和12年、戦争に関する図書の紹介が増え、本紙に司書の出征についての記事が掲載されるなど、世間が戦争に巻き込まれていくなか、“良書であり適書である図書”を選定し、特に若い世代へ向けた情報発信を続けてきました。

昭和14年5月に郷土文化振興を目的とした「千葉文化」へと名前を変えましたが、「千葉県図書館 館報」創刊時に目指した、“県民と図書館を親しく繋ぐ楔”となるよう、今後も図書館をより便利に活用していただけるよう情報発信をしていきます。



令和元年房総半島台風等の報告書

令和元年は9月の房総半島台風(台風15号)のほか、10月の東日本台風(台風19号)や台風21号の影響による大雨など、災害による被害の多い年でした。

県立図書館ではこれら台風などによる被害やその復旧について、各自治体などが公表した報告書をホームページ上で紹介しています。

県立図書館ホームページ 「千葉県関係資料案内」

https://www.library.pref.chiba.lg.jp/search_chiba/index.html#guide

新聞マイクロフィルムの活用方法

● マイクロフィルムとは？

新聞などの保存に使用する写真フィルムです。千葉県立中央図書館では、明治時代から現在までの全国紙(全国版・千葉版)、千葉県の地方紙、江戸時代から明治時代の千葉県資料などのマイクロフィルムを所蔵しています。

データベースで見られない年代の新聞の中には、マイクロフィルムで見られるものもあります。マイクロフィルムで閲覧後、印刷し持ち帰ることができます(有料)。昔の紙面をそのまま縮小したもので、その時代ならではの新聞の風合いなども感じることができます。

所蔵フィルムの内、新聞一覧はホームページよりご覧いただけます。

千葉県立図書館所蔵新聞

→縮刷版、復刻版、マイクロフィルム

<https://www.library.pref.chiba.lg.jp/search/newspaper/index.html>



● マイクロフィルムの活用

多くの方の調べ物や著作物の参考文献として活用していただいておりますが、時にはテレビ番組の解説資料としても、マイクロフィルムから印刷して提供しています。

○ 出役！アド街ック天国 『習志野』(テレビ東京、2020年9月19日 21:00 OA)

1934年のベーブ・ルースが来日した日米野球では、アメリカチームの練習が谷津球場で行われました。『物凄いぞ ルース 大ホームラン!』という、見出しの新聞記事を提供し、テレビで放映されました。

〈資料：読売新聞1934年11月4日朝刊7ページ〉

千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)に基づく 子どもの読書活動推進センターの取組

千葉県子ども読書活動推進計画(第四次)は、“すべての子どもが、本を楽しみながら成長していくための「読書県『ちば』」の推進～子どもと本をつなぐ・子どもの本でつながる読書活動の推進～”を基本理念として令和2年2月に策定されました。

基本方針1

社会全体における子どもの読書への関心を高める取組の推進(発達段階別アプローチ)

- ★乳幼児期:「本に出会う」
- ★小学生期:「本に親しむ」
- ★中学生期:「本から学ぶ」
- ★高校生期:「本と歩む」

基本方針2

読書環境の整備と連携体制の構築

- ★読みきかせ、子どもの音読を聴く、読書について語り合う機会と時間の確保
- ★図書館、公民館図書室、児童館などの整備
- ★読書バリアフリーの推進
- ★子どものための郷土資料の充実 など

子どもの読書活動推進センターは、子どもの読書活動の推進に関し、教育委員会、図書館、関係機関・団体、関係者などの連携の拠点(センター)となる組織で、県立図書館内のプロジェクトチームとして活動しています。

児童室では、発達段階ごとにコーナーを設置しています。

- ・乳幼児向けの赤ちゃん絵本
- ・物語絵本
- ・幼年文学(物語)
- ・児童文学

また、季節に合わせた展示や話題になっている本の紹介など、本を手にとってもらいやすい工夫もしています。

千葉県にゆかりのある人物リスト 千葉県の民話リスト

子ども向けに書かれた郷土の人物や民話の本のリスト

「りんごの棚」

バリアフリーの資料を集めて紹介

「子育て支援情報コーナー」

子育て中の保護者の方に向けて、「食」や「おでかけ」などの本や情報を提供

「としよ部っ!」

中高生向けに読書活動や学習に役立つ情報、新しく入った本などを紹介

「読書感想画中央コンクール」千葉県コンクール入賞作品展

中央玄関横で、令和2年12月に小学校の部、令和3年1月に中学校・高等学校の部の2部に分け、作品展を開催しました。たくさんの方に見ていただきました。



感染リスクを最小限にとどめ安心して利用していただくための県立中央図書館の取組

～新しい生活様式 図書館のいま～(令和2年10月末現在)

三密を回避

- ・定期的な換気を実施しています。
- ・館内が密集状態にならないように、入館人数を制限しています。
- ・座席の間隔を空け、通常より座席数を少なくしています。
- ・滞在は2時間以内の協力をお願いしています。

感染拡大防止策の徹底

- ・入館時の検温を実施しています。
- ・マスク着用、こまめな手洗いなどをお願いしています。
- ・資料との接触による感染リスクを考慮し、返却された資料は3日間利用を停止しています。
- ・職員はマスクを着用し、カウンターにはアクリル板、またはビニールカーテンを設置しています。

非来館型サービス・滞在時間の短縮

- ・郵送による貸出・返却・複写(有料)
- ・電話やFAX ホームページでの予約、レファレンス受付



千葉県立中央博物館企画展関連行事 「縄文の日」に参加しました！



令和2年11月28日(土)、
「縄文」をテーマに千葉県立中央博物館、千葉県立中央図書館、千葉市加曽利博物館、千葉市中央図書館がそれぞれの特色を活かしたイベントを開催しました。

当館は、縄文をかたどったオリジナルのしおりづくりと、本を使って解く縄文クイズをしました。会場には大人のほか親子連れも多く、楽しみながらしおりを作る子ども達の姿が見られました。(右:オリジナルのしおり)

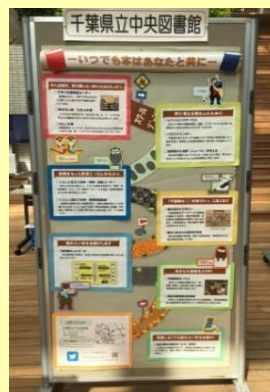


千葉市図書館情報ネットワーク協議会 加盟館紹介展

令和2年10月15日(木)～11月1日(日)
千葉市生涯学習センターで行われた加盟館紹介展に参加しました。

「いつでも本はあなたと共に」というテーマで、人生の様々なシーンに合わせた図書館サービスを紹介しました。

誕生、就学、就職、結婚、出産、退職、老後の時期に「図書館でどんな体験ができるか」を、ストーリー仕立てで掲示しました。(現在、児童資料室に掲示中)



習志野市立中央図書館

～ルポルタージュ千葉68～

習志野市立中央図書館は、中央公民館・市民ホール・運動施設などを備えた習志野市生涯学習複合施設「プラッツ習志野」内に、令和元年11月にオープンしました。



令和2年7月には、旧大久保図書館をリノベーションした「こどもとティーンズのフロア」が完成しフルオープンしました。

一般のフロアから離れた「こどもとティーンズのフロア」では、子どもたちがのびのびと本を選ぶことができ、小さなお子さんを連れただご家族もくつろいで過ごすことができます。

中央図書館は、駅から徒歩2分と近く、毎日夜8時まで開館しています。「プラッツ習志野」は年末年始以外は無休のため、自動貸出機を備えた予約本受取コーナーで、図書館休館日でも予約した資料を借りることができます。

新しい機能を活かし、より充実した図書館サービスを展開できるよう、職員一同アンテナを張って取り組んでいます。

(習志野市立中央図書館 奉仕係長 勇依子)



<利用案内>

〒275-0012 習志野市本大久保 3-8-19
Tel 047-475-3213

◆開館時間

午前9時～午後8時

◆休館日

月曜日、年末年始、蔵書点検期間

◆蔵書冊数 約16万冊

千葉県立中央図書館

〒260-8660 千葉市中央区市場町 11-1 TEL043-222-0116
<https://www.library.pref.chiba.lg.jp/>